

道徳の時間で活用する ～勤労、公共の精神～

山陽小野田市立須恵小学校 柳生 由香

1 本場面におけるポイント

- 道徳的価値の意義と大切さの理解のための資料選び
登場人物の考え方や生き方が道徳的価値そのものであるような力のある資料を選ぶ。
- 道徳的価値に迫る発問の工夫
児童の既存の考えや認識を超えさせる（広げる・深める）主発問を考える。
- 道徳的価値における、実践意欲・態度へのつなぎ
道徳的価値にしっかり浸らせ登場人物の考え方や生き方にあこがれをもたせることで、自然に自己の振り返り・実践意欲へとつなげていく。

2 授業の実際

1 主題名 働くということ

「資料名「ぼくの仕事は便所そうじ」文溪堂 6 年生の道徳」

2 ねらい

「ぼく」の仕事に対する気持ちの変化について考えていくことで、喜びや誇りをもって働けるようになった「ぼく」の心の成長に気付かせ、自分に与えられた役割を大切にしていこうとする心情を育てる。

3 展開

(1) 導入 働くということについて考える。

教師：「働く」というのはどういうことですか。

児童：人の役に立つことをすること。仕事をする。

教師：「働く」ということについて考えていきましょう。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「私たちの道徳」の P152～153 を読んでおく。「働くということ」について、終末時の自分の考えと比較させるために、しっかり意識させておく。

(2) 展開 登場人物の言動から道徳的価値に迫る。

教師：おばあさんの言葉にショックを受けたのは、なぜでしょう。

児童：いやいやそうじをしていたのに、お礼を言ってもらって申し訳ない。

児童：いやいやそうじをしていた自分が恥ずかしい。情けない。

教師：「ぼく」を変えたものはなんでしょう。

児童：おばあさんの言葉。

教師：本当にそうですか。

「ありがたい。」と言われたら、すべての人が変わりますか。

児童：「気持ちいい。」と言われてうれしい気持ち。

児童：工夫してやった後の満足感。

児童：真理を発見したこと。



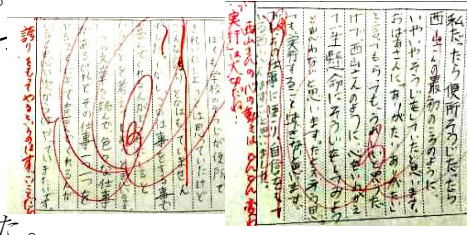
児童：誇りをもってできるようになったこと。

教師：「ぼく」はその後どのような人生を送ったのでしょうか。

児童：ますます便所そうじを頑張った。

児童：どんな仕事でも頑張った。

児童：自分に与えられたことを一生懸命やった。



□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

- ① 主人公「ぼく」である西山登志雄さんの紹介と当時の様子の説明をしておくことで、状況をつかみやすくする。
- ② 「ぼく」のそうじに対する気持ちを順に追って見ていくことで、「ぼく」の変容に目を向けさせる。おばあさんの言葉の前後の大きな変容に気付かせた上で、変容した理由を考えさせる。
- ③ 著書をもとに、その後の西山さんの誠実な生き方を紹介する。また、「便所そうじ」という仕事を通して得たものが、その後の人生に大きく影響していることを知らせた上で、終末の自己の振り返りへとつなげる。

(3) 終末 自分の生き方へとつなげる。

教師：自分になりたい職業について、「働くということ」について学んだことを生かしてまとめましょう。

<児童記述：(自)自分に関すること、(相)相手に関すること、(社)社会に関すること>

警察官：(自)自信をもってがんばる。(相)悪い道から良い道に変えたい。

(社)犯罪がなくなって暮らしやすくなる。

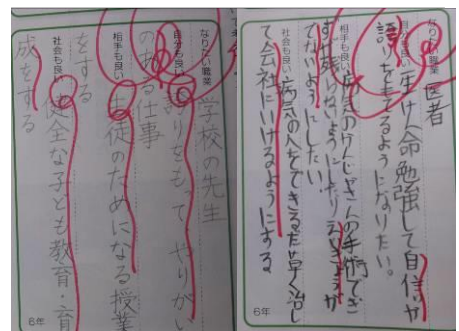
保育士：(自)やりがいをもってやる。(相)よい子になるように世話をする。

(社)お母さんが安心して子どもをあずけて働ける。

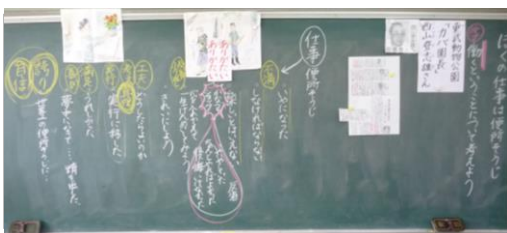
マンガ家：(自)あきらめずにがんばる。(相)喜んで読んでもらえるマンガをかく。(社)世の中のみんなに大切なことを伝えるマンガをかく。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「私たちの道徳」のP152～153の「三方良し」の欄の書き込みをする。資料での学びを生かすとともに、総合的な学習の時間での「自分の将来の夢(職業)」の調べ学習も意識させることで、より自分の考え方・生き方へとつなげて生かせるようにする。



3 実践を振り返って



今回の授業では「私たちの道徳」を導入と終末に活用した。読み物資料だけでなく、登場人物の考え方や生き方が道徳的価値そのものを語るような「力のある資料」との併用により、子どもたちがより道徳的価値に迫ることができることを実感

している。これからも、より効果的な資料の活用方法を考えていきたい。そして、道徳的価値についての理解を深めさせるとともに、それを自己を見つめることや、自己の生き方へとしっかりつなげていくことのできる道徳をめざして、取り組んでいきたい。